

那覇市松尾 2 丁目 で発見された不発弾の安全化処理について

はいたい ぐすーよー ちゅーうがなびら。

本日は、今年 8 月 3 日に那覇市松尾 2 丁目のホテル建設工事現場内で発見された、米国製 50 k g 不発弾の安全化処理について、市民の皆様にお知らせいたします。

来る 9 月 23 日（土）午前 9 時に、那覇市役所本庁舎 5 階庁議室に、不発弾処理に伴う現地対策本部を設置いたします。

処理方法は、ライナープレートを使用した強固な処理壕を設置して、現地で陸上自衛隊不発弾処理隊が安全化処理を行います。

避難対象区域は、現場から半径 166m の範囲内であり、避難対象となる住民は約 1,000 世帯の約 2,500 人、事業所は約 350 事業所となります。なお避難場所につきましては、市役所本庁舎 1 階および 2 階に設置いたします。

避難開始時刻は午前 9 時 30 分、交通規制の開始時刻は午前 10 時 20 分からとなっております。順調に作業が進んだ場合には、午前中で処理が終了する予定です。

また、避難対象区域である国際通りの松尾交差点付近には、ホテルやお土産店など多くの事業所がございます。

そのため、交通規制などにより避難区域以外の市民、県民、ならびに観光客の皆様にも影響が及びますので、市や関係機関が発表する情報にご留意願います。

本県におきましては、戦後 72 年が経過する現在においても、今なお地中深くに大量の不発弾が埋没していると推定されており、全ての不発弾の安全化処理を終えるまでには、今後、約 70 年必要であるとも言われております。

市民・県民の皆様をはじめ、観光客の皆様には、不発弾処理のたびに大変なご迷惑・ご不便をお掛けしておりますが、市民生活を脅かす危険な不発弾を安全に処理するため必要な措置でございます。どうか市職員の避難誘導や警察による交通規制等へのご理解とご協力を、よろしくお願い申し上げます。

いっぺー にふえーでーびる。